



秋晴れの10月10日、恒例の市民大運動会が中央公園野球場で行われました。

会場では約1,800人の市民が参加して、力の入った町内会対抗の綱引きやムカデ競走、会場を和ませたパン食い競走や大玉ころがし、かわいい幼稚園児のダンスなどたくさんの種目が行われました。また、応援席には、のぼりや大漁旗がなびき、会場全体が一緒になって大いに盛り上がりました。

走って、笑って、大声援！



安楽島小学校のPTA会報「にえ」が、三重県と全国のPTA広報紙コンクールで、それぞれ「県PTA連合会長賞」と「奨励賞」に選ばれました。

ダブル受賞に輝いたのは、昨年度発行の48号～50号で、運動会や奉仕作業の様子、先生や児童の紹介などがカラー写真を多く使って読みやすい紙面に編集された力作です。編集委員長の木場賢人さんは、「記事集めや写真の配置など苦勞もありましたが、取材を通してこどもの目線に近づけたことも大きな成果でした」と喜びを語ってくれました。

力を合わせた広報紙でW受賞



(財)自治総合センターから平成21年度の宝くじ助成を受けて、「日本列島“海女さん”大集合～海女フォーラム～第1回鳥羽大会」が、10月3日、海の博物館で開催されました。

北は岩手県から南は熊本県までの国内10地区と韓国・濟州島の海女64人が参加し、三重大学の教授らによる研究報告や海女さん同士の意見交換会が行われました。

フォーラムの最後には、「海女文化の伝統を守り、水産業の大切さを伝え、世界無形文化遺産登録に向けて前進したい」という思いを込めた海女宣言が読み上げられました。

日本列島“海女さん”大集合



木を植えながら全国を歩き、平和と環境保護を訴える活動が続いている中溪宏一さんが、10月6日、弘道小学校を訪れ、6年生の児童16人と植樹をしました。

これは、環境対策に取り組む相差旅館組合が企画したもので、中溪さんが教室で、「木や森は地球の環境を守り、動物と人が共存していくためにとっても大切」であることを話した後、こどもたちと一緒に校庭にクリの苗木を植えました。

最後に、手をつないで木を囲み、みんなで飛び上がるアース・ジャンプをして、木の成長と地球の平和を願いました。

木が大きくなることを願って